

〈建設キャリアアップシステム登録推進・窓口開設情報 ⑧〉

2018年10月3日

本部建設キャリアアップシステム担当発

1) 中野支部、事業所やパル会員対象に学習会

中野支部では9月28日夜7時から支部会館において事業主およびパル会員など15人で学習会を開催。講師は本部林書記。登録をすませている石田副委員長から運用順延の詫び状がきた、と報告。システムを知っている参加者が少なくなく、特に登録の具体的な方法を知りたい、との要望ができました。今後の学習は登録書類の書き込み説明を重視するとよいようです。

2) 杉並支部が組合内外の事業所対象に学習会開催

杉並支部は9月25日夜7時より、支部会館にて山本技術センター事務局長が講師となり、組合内外の事業主や組合員対象に学習会を開催、20人が参加。ゼネコン元請から登録するように言われている、など参加者はシステムを知っている人が多かった。具体的な実務説明を重視しました。

3) 本運用4月にともなうネット登録料割引・現場就業利用無料の特例措置も延長

システムの本運用(現場での就業履歴の蓄積)が4月からとなった関係で、インターネットによる技能者登録の登録料割引(2500円→2000円)と、事業者登録の管理ID利用料及び就業履歴の蓄積となる現場利用料を無料とする措置が、9月末までから来年3月末まで延長されています。

4) 専門工事企業の見える化検討会が企業評価で中間報告案を示す 2/5

国土交通省は、9月20日に開いた「専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会」に、建設キャリアアップシステムに登録される技能者の就業履歴・保有資格をベースとして専門工事企業の施工能力、を見える化し、企業評価制度とする中間報告案を示しました。

建設キャリアアップシステムに登録される技能者の保有資格と就業履歴を企業評価のベースとし、資格と就業履歴という二つの指標で技能者の能力を4段階評価、個々の企業がどのレベルの技能者を何人雇用しているか、技能者を育成しているかなどで評価し、公共事業の入札で制度を活用することも検討しています。(つづく)

5) 全建総連が推奨するスマホアプリの開発が進行中

システムの就労履歴の蓄積について、全建総連はスマホの活用を推奨しています。開発事業者である㈱ラピータは6月25日から7月31日まで約1ヵ月間、建設ユニオンの事業所の協力でGPSを稼働させ、入退場チェックもふくめた実証実験をおこない、8月末までにアンドロイドとIOS(아이폰)の評価版が完成しています。今後完成版でのモニターを実施し、販売に向け完成版アプリによる実証実験がおこなわれます。

6) 不足する技能者の確保は緊急課題、大手資本には早く対応する企業も 1/5

ゼネコンやハウスメーカーは直面する技能者不足の対策に本格的に乗り出しています。他方で、労働者は技能にみあう賃金と時間外労働の割増賃金・休日確保が実現される企業へ従事しようとしています。

キャリアアップシステムにより時間外労働・休日の正確な把握が可能となることから、いち早くシステムに対応できる企業が生き残れると、対応を早くする企業が現れています。(つづく)

以上

※「情報」の②(9/14)の表入力担当者の西多摩支部欄に松井書記を記載漏れしました。すいませんでした。